



**QCサークル宮城地区**

**賛助会員交流会フィードバックレポート**



2026年度

QCサークル宮城地区

# 1. 賛助会員交流会スケジュール

日時：2026年5月21日（木） 11:00～16:00

場所：航空自衛隊 松島基地

第4航空団司令部3F大会議室

No	時間	所用時間	内容
1	10:45～11:00	15分	受付 航空自衛隊 松島基地 第4航空団司令部3F大会議室
2	11:00～11:05	5分	開会挨拶 QCサークル宮城地区 地区長 庄司 勝 (リコ-インダストリー(株) 東北事業所)
3	11:05～11:30	25分	航空自衛隊 松島基地 基地概要説明と改善活動の取り組み紹介 第4航空団司令部装備部計画班長兼整備班長 中原 結城 様
4	11:30～12:20	50分	《昼食》 自衛隊内食堂で日替わり定食体験喫食（無料）
5	12:20～13:00	40分	《休憩》 売店 ⇒ 3F大会議室へもどり名刺交換等
6	13:00～14:00	60分	基地見学 第4航空団司令部装備部計画班長兼整備班長 中原 結城 様
7	14:00～14:20	20分	グランドチャンピオン大会出場サークル基調発表 いぐすべ！サークル 聴講
8	14:20～14:40	20分	宮城地区の活動について QCサークル宮城地区 幹事長 平間 勝美 (リコ-インダストリー(株) 東北事業所)
9	14:40～15:55	75分	交流会 ・QCサークル活動に対する日頃の悩み相談会 ・ご参加の企業の皆さんで情報交換
10	15:55～16:00	5分	閉会挨拶 QCサークル宮城地区 副地区長 安達 康広 (トヨタ自動車東日本(株) 本社宮城大衡工場)



2026年度 QCサークル東北支部 宮城地区

参加費無料

「賛助会員様限定」

## 賛助会員交流会

【宮城地区スローガン】

もっと面白く、もっと仲間を増やして、みんなで楽しく成長しよう！！

### <目的>

- ・賛助会員同士の情報交換
- ・異業種メンバーとの交流による気づきを得る
- ・宮城地区活動のご紹介と参加のお願い

### <内容>

- ・航空自衛隊松島基地  
基地見学会、QCサークル活動取組紹介
- ・宮城地区活動説明
- ・交流会



## 2. 参加会社

### ＜参加賛助会社＞

- ◆ラサ工業株式会社
- ◆株式会社仙台村田製作所
- ◆日研トータルソーシング(株)仙台事業所
- ◆トヨタバッテリー株式会社
- ◆豊田合成東日本株式会社
- ◆東北紙工株式会社
- ◆東洋刃物株式会社
- ◆航空自衛隊 松島基地
- ◆株式会社登米村田製作所
- ◆迫リコー株式会社
- ◆株式会社ワールドインテック
- ◆東北プレス工業株式会社
- ◆ヘキサコア株式会社
- ◆リコーインダストリー株式会社
- ◆トヨタ自動車東日本株式会社

(15/20社：32名参加)



QCサークル宮城地区

賛助会員交流会 in 松島基地 2026.05.21

### ＜幹事会社＞ (11名)

- ◆リコーインダストリー株式会社
- ◆トヨタ自動車東日本株式会社
- ◆株式会社登米村田製作所 (サポート幹事)
- ◆QC宮城地区幹事

### ＜ご支援＞ (2名)

- ◆航空自衛隊 松島基地

総勢45名参加頂きました!!  
ありがとうございました

### 3. 交流会内容

社内での役割が違う方が多かったため、

Aグループ： 経営層・上位職でマネジメントさせている方

Bグループ： 実際にサークル活動を展開されている方

Cグループ： 推進者・事務局に関わっている方

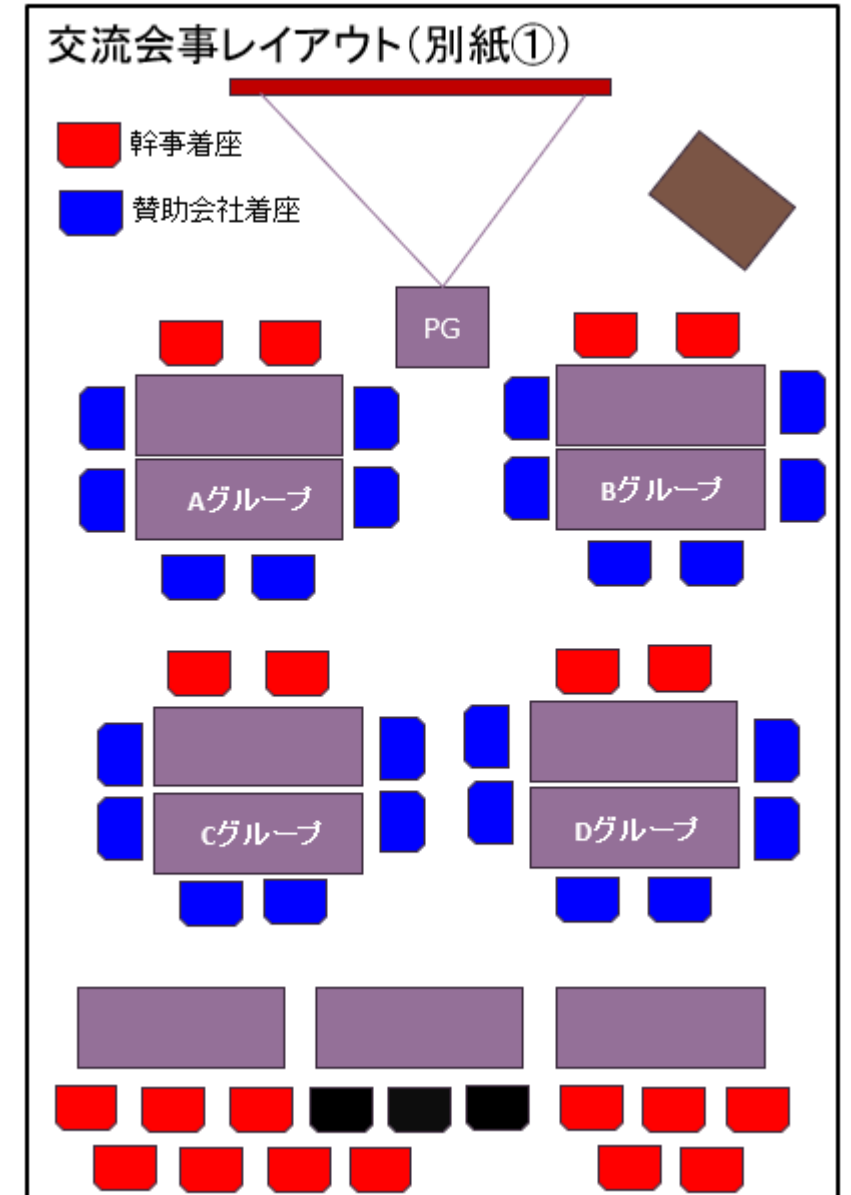
Dグループ： 推進者・事務局に関わっている方

に事前にグループ分けを行って、交流会を行いました。

各テーブルにQCサークル宮城地区メンバーが加わり、ファシリテーター役となって、下記内容の議論を進めました。

#### 議題

- ①各社の小集団活動の取り組み状況や悩み事抽出  
(推進側・実践側)
- ②各社で活性化するために工夫していること。 社内大会等
- ③QCC宮城地区にたいする要望は、無いか。
- ④その他、意見



## 4. 交流会討議内容まとめ

【Aグループ】

1 / 3

議題	意見	まとめ
1. QCサークル大会について	全国規模で大会を実施している	<p>👉 <b>ポイント</b></p> <p>→ QC活動が経営層まで巻き込まれている</p> <p>→ 定期的な発表や共有が行われている</p>
	社内でも全国大会はあるが関西が強い、など地域差のあり	
	社内でも年間約2回の活動（またはイベント）	
	発表会は社長も出席している	
	工場や部門単位での取り組みとなっている	
2. 継続・定着の課題（困りごと）	長く続けることが難しい	<p>👉 <b>ポイント</b></p> <p>「なかなか定着するのが難しい」という課題認識あり</p> <p>→ QC活動は継続運用が課題</p>
	活動したい人だけが残る状況	
	製造部門が活発	
	間接部門が活発（時間が取れる）	
	本社がやっていないためやりにくい（なかなか浸透しない）	
	一度やめたが復活するのに2年かかった（きっかけは改善能力の低下）	
発表会のための資料作りになっている		

【Aグループ】

2 / 3

議題	意見	まとめ
3. 活動を活性化・あるいは停滞させないための工夫等	推進事務局が橋渡ししている	<p>👉 <b>ポイント</b></p> <p>→事務局のかかわり方</p> <p>→達成感を味わう</p> <p>→はじめは型にはめず</p> <p>→大会派遣がモチベーションUP</p>
	事務局のパワーが必要	
	派遣会社でもサークル活動やっている。QC活動を長くやっていることが管理者の評価になっている	
	大会へ派遣することがきっかけとなりモチベーションへつながる	
	会合へ参加し褒めて、指導し、達成感を味わわせている	
4. 活動の意義・効果（QCサークルのどのようなことがよかったか）	事例共有から学びがある	<p>👉 <b>ポイント</b></p> <p>→やはり人材育成に繋がる</p>
	達成感や満足感	
	サークル代表同士で競う仕組み	
	県に同じグループ企業がありQCサークルを通して関係性が深まっている	

【Aグループ】

3 / 3

議題	意見	まとめ
5. 宮城地区への要望	初心者向けの「ビギナー交流会・勉強会」のようなものを行ってほしい（大会ではなく）	<p>👉 <b>ポイント</b></p> <p>→左に同じ</p>
	QC活動メンバー同士の交流会があるとよい（他社はどのような活動しているのか参考になる）	
	今後もこのような交流会を継続してほしい。（R Iの発表会をこの会で知りB Mして、自社にも取り入れたら、評判がよかった。）	

## 4. 交流会討議内容まとめ

### Bグループのディスカッション内容

チーム数	活動期間	活動時間	フォロー	発表は？ 教育は？
-	-	4回/月	-	-
1班： 12～13チーム	半年	1時間半/回	推進員	部門内→代表チーム発表→本社発表 or 県 or グループ発表
12チーム	半年	-	-	7分発表（予選通過後に本格的に資料作成） 部長予選→トップ報告 若手リーダー
-	1年	時間内	世話役	A3サイズで事例発表会→選ばれたら資料作成→グループ内発表会  月でテーマがあり、改善に時組む。 提案でもよい（その場合は、3件で1件カウント）
25チーム	1年	1時間/回	推進員	9月中旬/部門→3月部門選別→会社大会→本社 or 県
10名/チーム	半年	1～2時間 進捗状況で変わる	-	部門発表→グループ内発表
これからの活動				
-	-	-	教育係	ライン外でQCを教えながらに時間が掛かっています。 資料を見ていただく 知識のない人がどんどん入って来るので大変
	12月完了			教育が無いので自ら勉強 大会等の聴講にも出向き情報を集めた

### 困り事

- ・積極的にサークルへ参加する人が集まりにくい
- ・リーダー経験者が固定化し、同じ人が再度リーダーを務める傾向がある
- ・業務の合間で活動するため、まとまった改善時間を確保しにくい
- ・QCサークルに関する知識・経験を持つ人が少ない

### 参考意見

- ・経験者は推進役ではなく育成側に回り、若手に実践を通じて学ばせる
- ・若手をあえてリーダーにすることで、主体性・スキル向上・モチベーション向上につなげる
- ・チームリーダー以上の役職者も支援役として関わり、専門的なフォローを行う体制
- ・社内発表や表彰制度を設けることで、活動へのモチベーションを高める仕組みを作る

### 気づき・学び

- ・QCサークルは個人の能力ではなく、チーム全体で育てる仕組みが重要
- ・活動が進まない原因は時間・知識・役割分担などの環境要因が大きい
- ・リーダーの固定化は効率的に見えるが、長期的には組織力の低下につながる可能性がある

## 4. 交流会討議内容まとめ

### Cグループ

悩み事・困り事・ワイガヤ…

会社A:  
利益を求めるわけではなく他とは違う  
昨年、サークルリーダー経験したがメンバーを決める際経験ない人を  
メンバーにした、やらされ感があり力づくで進めて苦労した  
システムがツール使ったの業務であり納得出来ない人多い  
やる人、やらない人がいる  
テーマは、業務をこなす中で拾上げる  
班を跨いでやると難しい、デジタルツール出してもらいメモ帳使い  
やっている

会社B:  
12人中6人ずつでチームを半期で変える  
自分がまとめると意欲がなくなるので取り組んでるところをサポート  
関係性良さそうな新人とベテランを一緒にしてベテランには  
頼りにしてます等と伝えたり、支えてあげたいという気持ちさせる  
意欲が沸くテーマで納得させる  
お偉いさんの前で発表面倒でこじんまりと課ごとの発表にした  
選ばれれば宮城地区大会出場

会社C:  
10人ちよっとの班でやる人やらない人、2.3人一気に作る  
全国大会なくなって課で選抜してる、資料のブラッシュアップが面倒に  
なり東海地区に行くのもやめてしまった  
人数絞って役割持たせればいいのか…

会社D:  
業務があれもこれもとなって活動が衰退してる  
社長が変わってからサークル数200→100に減った  
事務局が会合どれくらいやったか確認してる

会社E:  
機械別でチーム分けしている(10チーム)80~90人  
若い人が会社に入って来なく海外実習生が多い  
同じ日本人の方がリーダーやっている

会社F:  
本社行く事を人参(ご褒美)にしているが若手はめんどくさがってる  
10人で毎月リーダー進捗や困り事確認行ってる

会社G:  
若手ヤル気ある人ない人いるがやるしかない…

宮城地区への要望…

会社D:  
リーダー研修会とは別にQC検定に向けての勉強会を行ってほしい  
会社G:会社は2回まで検定費出してくれるが浸透しない  
B社D社、検定進めておりD社は、合格すれば報奨金あり  
会社Eも2回までは検定費出してる

# 4. 交流会討議内容まとめ

【Dグループ】各社ごとの意見（困りごとなど）

1 / 4

A社	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を決めてはいるけども実際は集まりづらいのが課題。</li> <li>会社方針として意地でもやれとの指示。</li> </ul>
B社	<ul style="list-style-type: none"> <li>やる気にさせることが課題。</li> <li>全員参加が難しい。</li> </ul>
C社	<ul style="list-style-type: none"> <li>QCは製造部署のみ。</li> <li>取り組み度合いの差がある</li> </ul>
D社	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこから取り組んだら良いかわからない</li> </ul>
E社	<ul style="list-style-type: none"> <li>組立部で36サークルある</li> <li>モチベーションUPが課題</li> <li>時間確保の課題 会社方針は月2時間</li> <li>改善と小集団の意味合いは違うと思ってる</li> <li>改善は対策がすぐる。</li> <li>小集団はチームで答えを導く。</li> <li>小集団の一度の活動で終わってしまっって継続性が無い課題も感じている。</li> </ul>
F社	<ul style="list-style-type: none"> <li>一過性で終わってしまう。</li> <li>継続しない課題</li> <li>間接部署の進め方は製造と違って難しい。</li> </ul>
G社	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造は問題解決。事務は課題達成。</li> </ul>

議題	意見	まとめ
1. メンバー構成は何人くらいでしているか？	多いと発言しない人も出てくる。少ないと全員参加にならない。5 - 6人がいいのでは。	<p>👉 <b>ポイント</b> 活動は5~6人</p>
	少なくとも、実行は得意な部署に手伝ってもらえばいいのでは。	
	あまり知らない部署が集まっても、わからない話になりがちで意見が出づらい	
2. 事務で課題解決とは？	あるべき姿の設定。例：問い合わせ電話の低減。残業抑制。今の問題から改善した方がイメージしやすいのでは？会社方針に沿わせて課題を提示してあげる。	<p>👉 <b>ポイント</b> 課題解決より問題解決がやりやすい</p>
	会社方針からのやらされ感やってよかったレベルを捉えるやり切った感	
	達成感問題・課題・実行・未然の4つがあるが、経験が浅い人は問題がやりやすいと思う小さな達成感の繰り返し 目標はなんでもいいのでは	

議題	意見	まとめ
3. 若い世代へのモチベーションへの取り組みは？	QC検定の取得推進。取得すると実践したくなる。	<p>👉 <b>ポイント</b> →検定・教育で知識を得る</p>
	Web教育の工夫	
	逆に取得を推奨しない場合も。取得すると離職に繋がる可能性。取得は自腹。	
4. 時間外、時間内の活動でモチベーションの違いはあるか？	時間外でやっている企業が多い。	<p>👉 <b>ポイント</b> →時間外でやっている企業が多い →AI活用を行っている</p>
	時間内だと業務と思って確実にやる。	
	時間が無い場合はAIの活用もいい。発表原稿などは楽。改善のアイデアもAI活用	
5. 空気の作り方	静かになったら一度雑談に持っていく	<p>👉 <b>ポイント</b> →明るい雰囲気作りが重要</p>
	話す場づくりの重要性	
	やる人を指名 一人ではなく、複数人で1つにさせる	

議題	意見	まとめ
6. 年配に最近のツールを使ってもらうには？	達成感。やってみてすごいと思わせればやるのでは。	
7. 資料づくりの課題	やれる人に仕事が偏ってしまう。	<p>👉 <b>ポイント</b> →資料作りが課題</p>
	発表者と資料作成で役割が変わる	

## 5. 交流会当日の様子



宮城地区庄司地区長の挨拶でスタート



皆さん興味津々です！！



第4航空団指令部装備部 中原様より  
松島基地の概要・改善の取組紹介



基地内食堂喫食体験！！  
本日の日替わり定食は、こちらでした。  
ピラフ、鶏肉とトマト煮込み、いかのマリネ、ヨーグルト和え

ボリューム満点・お腹ポッコリでした！

## 5. 交流会当日の様子

当日は、あいにくの雨（涙）でしたが・・・まじかで見ることが出来ました!!

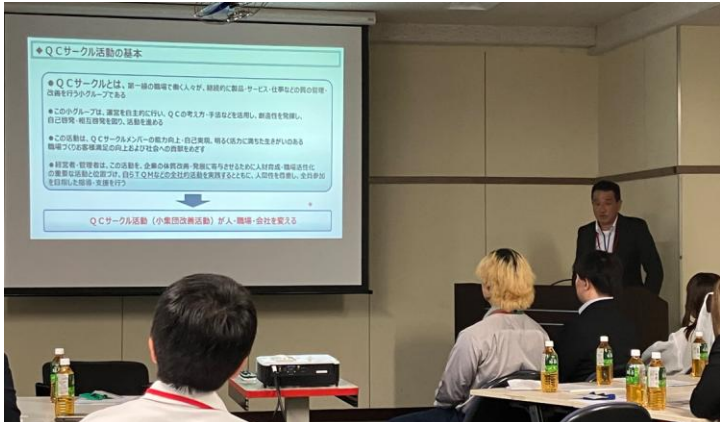
### ブルーインパルス格納庫見学



# 5. 交流会当日の様子

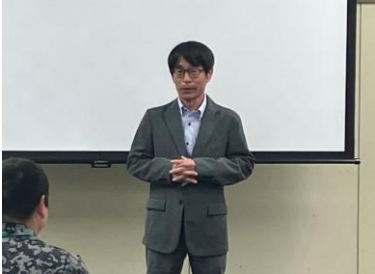


グランドチャンピオン大会頑張ってください!!  
いぐすペサークルの基調発表 (東北支部代表)



QCC宮城地区の取組紹介させて頂きました。

# 各グループの交流会の様子



宮城地区安達副地区長の閉会で終了

